

小川小拠点・サポートルームの学びガイド

このページではサポートルームでの学習内容やご家庭でできるフォローなどをまとめています。お子さんの成長を応援するヒントとして、ぜひご活用ください。

授業名 「買い物をしよう」 (低・中学年対象)

目的・ねらい

- ・ものの売り場(分類)が分かる。
- ・買い物の仕方が分かる。(お金の出し入れ、物の管理、マナー)
- ・困ったときやわからないときに聞くことができる。(店員さんとのやり取り、援助要請)

活動内容

- ・食料品の仲間分け、日用品、文房具などの、分類について知る。
- ・お金の出し入れの仕方、物の管理の注意ポイント、基本的マナーについて確認する。
- ・買い物メモを見て(低学年)、買い物メモを作成して(中学年)、買い物体験をする。

指導の効果

買い物体験をすることで、買い物をしてみようというきっかけになったり、どのようなことに気を付けて買い物をすればよいか、具体的なイメージがもてたりします。買いたい物を見付ける、並ぶ、お金を出す、店員さんとやり取りをする、財布や買ったものをしまうなど、多くのことに注意を向けなくてははいけません。落ち着いて行動すること、困ったときには援助要請をしてよいことを知ることで、安心して買いものをするのでないでしょうか。

ご家庭でできるフォロー

一緒に買い物に行く際には、分類などを意識しながら、どこにどんな商品が置いてあるか、会話をしながら買い物をすることがおすすめです。経験したこと、見聞きしたことが、本人の力になっていきます。買い物をしてみたいというお子さんには、近いお店や行き慣れたお店などから試してみてもいいでしょうか。学年が上がると活動範囲や友好関係が広がり、お金を使う機会も出てくると思います。「自分一人で買い物ができた」という経験が、自信につながっていきます。

